

# 再処理企業協議会

## かわら版 さいくる 2015年10月 第16号



構内作業に従事されている皆さまへ、あなたも“再処理企業協議会”の会員です！

### 今日の担当者



藤田



橋本

2015年(平成27年)9月30日発行  
再処理企業協議会 広報部会  
〒039-3212 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駈字弥栄平1-5  
再処理企業センターB棟  
TEL (0175)71-2487 FAX (0175)71-2488  
URL <https://www.saisyori-kigyokuyogikai.jp/>



再処理企業協議会

## 食欲の秋！スポーツの秋！芸術の秋！秋は楽しみがいっぱい

### 第4回勉強会

#### 再処理プロセス教育【ユーティリティ施設】

8月25日(火)再処理企業センター大会議室にて、ユーティリティ課長 加藤晴夫氏より、ユーティリティ施設の処理プロセス、系統の概要等について説明頂きました。最後に依頼事項として、①給水設備の冬場に於ける凍結防止、②一般排水設備への指定物以外の排水禁止、③設備全般について老朽化が進んでいる箇所を見つけたら連絡をお願いします。との依頼がありました。  
(参加者：24社 48名)



勉強会の様子

### 第5回勉強会

#### 安全衛生のポイントについて

9月15日(火)再処理企業センター大会議室にて、むつ労働基準監督署 労災・安衛課 地方労働衛生専門官 須藤 司氏より、労働安全衛生法改正に伴う足場の墜落防止措置や特別教育が必要になる事、労災保険、各届出等、各種説明を頂きました。  
(参加者：48社 97名)



勉強会の様子

## 地域情報

### ★B-1グランプリ青森県で再び開催！！★

10月3(土)・4(日)十和田市で、第10回B-1グランプリ(正式名称:「ご当地グルメでまちおこしの祭典!B-1グランプリ」)が開催されます。これは、ご当地のグルメでまちおこしをコンセプトとした大会で、近年、ニュースにも取り上げられるほどの盛り上がり様です。十和田のバラ焼きは、前回の大会に於いてゴールドグランプリを獲得した事により、バラ焼きがさらに全国区として有名になりました。ところで皆さんは、バラ焼きといえば、皿に盛られた状態で出てくるといったイメージではないでしょうか。三沢市内のとある食堂では、“バラ焼き定食”を注文するとコンロと肉・玉ねぎが乗った鍋が出てきて、自分で焼きながら食べるという風変わった定食を出すところがあります。各店独特のバリエーションや味付けがありますので食欲の秋、巡ってみるのも如何でしょうか。但し、食欲の秋とはいえ食べ過ぎには、注意しましょう！



バラ焼き定食

## 再処理事業所紹介 核物質管理部

再処理企業協議会の皆様、警備運用において多大なるご協力頂き、ありがとうございます。核物質管理部長の岩本です。今回は、核物質管理部の業務について紹介させていただきます。原子力事業を進めるためには、国内においてはSafety(安全)ですが、国際的にはSecurity(核セキュリティ)とSafeguards(保障措置)、即ち、核不拡散対応が確実に実施されていることです。核物質管理部の業務は、平和利用を担保するための核セキュリティと保障措置業務を担当しております。核セキュリティは、核物質の盗取および妨害破壊行為防止対策として物理的防護措置と厳格な出入管理、物品搬出入管理、更に、内部脅威を考慮した設備等の対策により対応しています。また、制御コンピュータシステム等に対するサイバーセキュリティ対応や情報管理も含まれます。



岩本部長

保障措置は、工場内の核物質を厳格に測定管理する計量管理と、国および国際原子力機関(IAEA)が実施する査察です。また、核物質を扱わない建物等についても立入調査が出来る「補完的アクセス(CA)」により未申告活動の無いことが検証されます。皆様の事務所も構内にあることからCAの対象となりますので、IAEAの査察官をつれて、当部の社員がお邪魔することがあるかもしれません。

## 再処理企業協議会からのお知らせ

### ★各社対抗ボウリング大会開催！！★

10月24日(土)再処理企業協議会主催 第3回各社対抗ボウリング大会を開催致します。会員各社との親睦及び、皆さんのボウリングの腕をここで発揮してみませんか。また、これを機に日頃の運動不足解消と大会に向けて再開してみても如何でしょうか。団体戦(会社対抗)個人戦での表彰も準備しておりますので、皆様のご参加をお待ちしております。

※ 詳細は、会員各社へ送付しました開催案内又は、再処理企業協議会ポータルサイトをご覧ください。



## 編集後記

今年の夏、久々に花火大会をゆっくり見る事ができた。昔は花火会場まで出向き(夜店とビールが目当てだが)観覧していたのだが、帰りの渋滞の事を考えると途中半ばで引き上げることが多かった。今は、ラッキーな事に自宅前の道路・歩道から見る事が出来る。椅子を外に設置し見ていると、近所の方々も続々と外に出てきて、子供のはしゃぐ声も方々から聞こえてくる。暗くて姿がみえなくとも友達の名前を呼び合う子供の声が鳴り響き何とも懐かしい(昭和のような)心地良さを感じた。小さい頃は、地域・地区内のご近所はみんな親戚のようなものだったように感じる。近所付き合いが希薄と感じる時代ではあるが、何かあった時に迅速に助けあえるのが御近所様である。助け合える関係を築く第1歩が近所づきあいと感じる今日この頃である。

